

市民の命は 私たちが守る

10月1日、茨城県西部メディカルセンターが開院。筑西市市民病院と県西総合病院の医療機能が一つになり、二次救急や入院治療を必要とする患者さんの診療を重点的に行います。

また、屋上にヘリポートを設置し、緊急時や災害時に備えるほか、病児保育も実施します。

市民の命を守るスタッフと病院を紹介します。

茨城県西部 メディカルセンター

堀江友香^{ほりえ ゆか} / 放射線技術科 放射線技師

患者さんに、より質の高い医療を提供したいとの思いから「検診マンモグラフィ撮影認定」の資格を取得しました。少しでも、乳がんの早期発見に貢献できるように努めていきます。

院内保育があることで、仕事と子育ての両立ができ、女性にとって働きやすい環境が魅力の一つだと思います。



寺田真^{てらだ まこと} / 内科 医師

地域のクリニックや大学病院などとの連携という重要な役割があるので、人と人とのつながりがあり、やりがいのある職場です。大学病院の治験の話も聞きやすく、最新の医療の実行や臨床研究など、スタッフ全体の医療レベルの向上に期待も感じています。

専門である神経内科（認知症、ALS、パーキンソン病など）に力を入れて地域医療の役に立ちたいです。



放射線室
(マンモグラフィ)



リハビリテーション科



飯島望^{のぞむ}／地域医療連携室長
社会福祉士

地域医療連携室長として、地域のみなさん、かかりつけ医、茨城県西部メディカルセンターをつなぐ架け橋になりたいと思います。

また、ソーシャルワーカーとして、患者さんやご家族に寄り添い、さまざまな不安を取り除くお手伝いをさせていただきまます。



ブロック案内



総合受付



櫻井知子^{ちよこ}／整形外科 看護師

広くて大きな病院で働くのは新人の頃勤務していた大病院以来です。その頃は知識と経験不足でプレッシャーを感じていましたが、今はそのプレッシャーを良い方向に変えることができています。

今までの経験を生かして地域密着の医療の支えになり、貢献したいという気持ちで毎日挑んでいきたいです。

おたけのぶき
大武 宣輝／リハビリテーション
技術科 視能訓練士

デザイン性に富んで、とてもオープンな印象の新しい病院で働ける期待と二つの病院が一つになるという新体制への不安が半々です。もつとさまざまな症例に接して、救急医療（急性期中心）の知識と経験を深め地域医療のために貢献したいです。



病児保育室「ひまわり」

お子さんが病気になる、仕事を休めない保護者のかわりに、病児保育室で一時的にお預かりし、保育士がお子さんのお世話をします。

当施設では、小児科医の巡回診察や看護師による看護を行いますので、安心してお子さんを預けてください。

利用の手続き

① 利用登録（無料）

② 登録カード発行

③ 利用申込

④ 利用当日

※手続きに必要な申請書は病児保育室に用意してありますが、ホームページからもダウンロードできます。



対象児

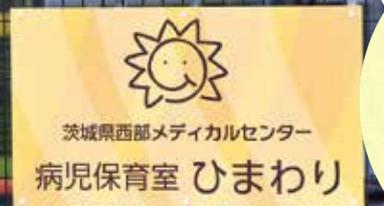
生後6か月から中学校就学前まで

利用料

1日2,000円
(5時間以内1,000円)

食事代

1食460円
(昼食・おやつ代含む)



みずたにのたろう
水谷 太郎

地方独立行政法人

茨城県西部医療機構 理事長

茨城県西部メディカルセンターは地域医療の拠点として、安全で心のこもった医療と、治療と予防医学を重視する地域医療支援病院として、健全で効率的な病院経営を目指します。地域で二次救急を完結することを重要な使命として「断らない救急」、「一人主治医制」を実践します。これには、地元医師会との連携、大病院と救命救急センターなどの高次医療機関との連携が重要です。

また、県西総合病院を引き継ぎ、さらに増強した災害拠点病院にもなります。

当面は二次救急を完結し、将来的には、分野によって高いレベルの医療に取り組むことも視野に入れています。

筑西診療所は、在宅医療を主に行う診療所として一部外来診療を行い、西部メディカルセンターと連携します。かかりつけ医と高次医療機関との密な連携を築き、地域医療の向上を目指します。



放射線室
(CTスキャン)



放射線室
(一般撮影装置)



HCU (高度治療室)



病院では、HCU (高度治療室) で、専門的な治療や看護を必要とする患者さんの早期回復に向けたケアに努めます。患者さんやご家族に寄り添い、安心感を持っていただけるような手厚いサポートをしていきます。また、入院中だけではなく、退院後の不安も解消してあげられるような、患者さんとの関わり方も考えていきたいです。

わたなべ たかひろ
渡邊 尚寛 / HCU 看護師



所在地・交通アクセス



〒308-0813
茨城県筑西市大塚 555 番地
① J R 水戸線下館駅から車で 10 分
新治駅から車で 10 分
② 筑西市広域連携バス
下館駅北口から筑波山行 10 分
「茨城県西部メディカルセンター」
下車
☎ 24 - 9111
FAX 24 - 9171
HP <http://www.iwmo.or.jp>



かいえいじ
梶井 英治 /
茨城県西部メディカルセンター
病院長

茨城県西部メディカルセンターは急性期中心の治療と二次救急をしっかりと行うという役割があり、かかりつけ医との「二人主治医制」を積極的に進めています。そして、患者の生活に寄り添った健康づくりや病氣予防にも取り組めます。

「二人主治医制」は地域住民と当院、かかりつけ医（地元医師会）、そして行政との信頼の輪が鍵であり、この輪がつながれば、当院は「私たちの病院だ」という気持ち地域に芽生え、患者一人一人の生活や人生に寄り添った親身になった医療ができます。

また、大学などの大きな病院との連携も強め、高度医療が必要な患者にきちんと紹介できる環境を作っています。これも信頼の輪があつてこそです。

当院は地域医療を充実発展、将来的に地域全体を見渡した発展につながります。私はそういう地域の将来に携わりたいです。



さくらがわ地域医療センター

■診療科目：内科、小児科、外科、整形外科、眼科、皮膚科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、婦人科
 ■休診日：日曜日、年末年始（12月30日～1月3日） ■病床数：一般病床80床、療養病床48床
 問さくらがわ地域医療センター ☎0296-54-5100



屋外リハビリ



病室（4床室）



ブロック受付



診察室

所在地・交通アクセス



〒309-1246 茨城県桜川市高森 1000 番地
 ① J R 水戸線「大和駅」より徒歩約3分
 ② 桜川市バス「ヤマザクラGO」
 バス停「さくらがわ地域医療センター」下車
 ③ 北関東自動車道 桜川筑西 IC より 1.5km

さくらがわ地域医療センターは、9つの診療科目を設け、外来診療や身近な医療を提供し、地域のみなさんに親しみをもち、気軽に受診していただける病院です。

運営にあたっては、地域の医療を支えていくことを第一とし、県西総合病院が行ってきた医療をできる限り継続していきます。その中で特に重要なのは外来対

院長 小野隆房／内科
おの たかふみ



さくらがわ地域医療センターは、9つの診療科目を設け、外来診療や身近な医療を提供し、地域のみなさんに親しみをもち、気軽に受診していただける病院です。

運営にあたっては、地域の医療を支えていくことを第一とし、県西総合病院が行ってきた医療をできる限り継続していきます。その中で特に重要なのは外来対

また、自宅や施設からの緊急時・レスパイト入院（一時的に在宅介護が困難になった場合の短期間入院）を積極的に受け入れたいと考えています。

救急医療については、一次救急（初期救急）を中心とした医療を行い、西部メディカルセンターの後方支援として可能な限り二次救急にも対応すること、円滑な救急体制の確立に取り組みます。

みなさんに信頼される病院となるよう全力を尽くしますので、ご支援とご協力をお願いします。

応です。桜川市には、眼科、小児科、皮膚科、泌尿器科などの専門のクリニックがなく、地域の人にとってなくてはならない診療科は継続していきます。

また、自宅や施設からの緊急時・レスパイト入院（一時的に在宅介護が困難になった場合の短期間入院）を積極的に受け入れたいと考えています。

救急医療については、一次救急（初期救急）を中心とした医療を行い、西部メディカルセンターの後方支援として可能な限り二次救急にも対応すること、円滑な救急体制の確立に取り組みます。

みなさんに信頼される病院となるよう全力を尽くしますので、ご支援とご協力をお願いします。



筑西診療所

筑西市民病院は47年の歴史に幕を下ろし、10月からは新たに「筑西診療所」として地域の医療を支えていきます。



受付・会計

所在地・交通アクセス



〒308-0847 茨城県筑西市玉戸1658番地 (市民病院跡地)
 ① JR水戸線「玉戸駅」から徒歩3分
 ② 筑西市地域内運行バス「筑西診療所」下車
 ☎28-2261 (代表)

筑西診療所 所長 佐々木将人 / 内科



筑西市民病院は、10月1日から外来診療、訪問診療、訪問看護などを中心に行う「筑西診療所」として生まれ変わります。市民病院の入院機能は西部メデイカルセンターに引き継ぎ、筑西診療所では、地域の医療機関との連携を図りながら「かかりつけ医」としての機能を充実させていきます。家の近くに、

適切な診断と、適切な医療機関の紹介ができるかかりつけ医がいることは、とても心強いことです。筑西診療所を、みなさんにとっての身近なかかりつけ医として、お気軽にご利用ください。より高度な治療が必要な場合には、西部メデイカルセンターとを円滑につなぎます。

市内には訪問診療を行う診療所が12か所ありますが、担当医が少なく、医師の負担となっています。医療機関や医師会と協力しながら、地域全体の訪問診療の底上げを図り、24時間365日体制の訪問診療の連携体制を構築していきます。

これまで地域のみなさんの命を預かってきた市民病院の歴史を受け継ぎ、地域に根ざした診療所を目指していきます。